

主要事業評価シート(第1次実施計画/H29・30・31年度)

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	生活文化部
	17057	文化会館等大規模改修事業	課名	文化スポーツ課 文化共生G
	施策の大綱	02:健康で生きがいを持てる暮らしの充実	財	会計
	基本施策	06:文化芸術の振興と文化交流の促進	務	款
	施策の方向	03:文化の拠点づくり	科	項
戦略プロジェクト	-	目	目	07:文化振興費
事業予定期間		H 29 ~ H 31 年度	主な根拠法令等 亀山市文化会館条例、亀山市中央コミュニティセンター条例	

② 目的・概要	対象	施設利用者
	目的	文化会館及び中央コミュニティセンターは、築30年以上が経過しており、老朽化により不調となっている空調機器や、耐用年数を経過している設備等を改修する必要が生じており、小規模な修繕では設備の維持が難しくなっている。このことから、文化会館及び中央コミュニティセンターの設備等の長寿命化と利便性の向上を図るため、経年劣化等が見られる設備を計画的に改修する。
概要	現在不具合を生じており簡易修繕が困難になっている各施設の空調設備と、耐用年数が経過している大ホール電動昇降装置巻上機の改修など、施設の長寿命化及び安全確保を図るために必要な改修を行う。また、建築基準法施行令改正に伴う耐震基準の見直しに対応すべく、大ホール吊天井の耐震調査を行う。	

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	
③ 事業の計画・実績	年度計画	<ul style="list-style-type: none"> ○文化会館空調設備改修工事 <ul style="list-style-type: none"> ・設計業務(大ホール・会議室棟・市民ロビー) ・改修工事(会議室棟・市民ロビー) ・監理業務(会議室棟・市民ロビー) ○文化会館大ホール吊天井耐震調査業務委託 <ul style="list-style-type: none"> ・耐震調査業務 	<ul style="list-style-type: none"> ○文化会館空調設備改修工事 <ul style="list-style-type: none"> ・監理業務(大ホール) ・改修工事(大ホール) 	<ul style="list-style-type: none"> ○文化会館大ホール電動昇降装置巻上機取替工事 <ul style="list-style-type: none"> ・改修工事 	
	年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ○文化会館会議室棟・市民ロビー空調設備改修工事 ○文化会館空調設備改修工事設計監理業務委託 <ul style="list-style-type: none"> ・設計業務(大ホール・会議室棟・市民ロビー) ・監理業務(会議室棟・市民ロビー) ○文化会館大ホール吊天井耐震調査業務委託 			
事業費	計画額	事業費	21,000千円	44,000千円	36,000千円
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他			
一般財源	21,000千円	44,000千円	36,000千円		
予算額	事業費	事業費	20,304千円	43,900千円	
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他			
一般財源	20,304千円	43,900千円	0千円		
決算額	事業費	事業費 ①	20,304千円		
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他			
一般財源	20,304千円	0千円	0千円		
人件費	総人件費 ②	総人件費	3,840千円		
		一般職員	3,840千円		
		所要人員	0.50		
		臨時職員等	0千円		
総コスト(①+②)		24,144千円			
受益者負担率		0.0%			

				平成29年度	平成30年度	平成31年度	
④ 指標	①	名称 文化会館空調設備改修工事設計業務委託 進捗率 実施済み事業費／総事業費	活動	計画値	100		
				実績値	100		
				単位	%		
	②	名称 文化会館空調設備改修工事 進捗率 実施済み事業費／総事業費	活動	計画値	28	100	
				実績値	28		
				単位	%	%	
	③	名称 文化会館大ホール電動昇降装置巻上機取替工事 進捗率 実施済み事業費／総事業費	活動	計画値			100
				実績値			
				単位			%

⑤ 事業の改善	前回評価	【前回評価の対応方針の概要を記入】 文化会館施設は、建築から30年以上を経過し、老朽化や設備の旧式化等による改修が必要となっている。利用しやすい施設を目指し、計画的に改修を進めていく必要がある。指定管理者との連携により改修が必要な箇所を確認し、安全確保などから優先順位を付け、計画的に施設整備を進めていく。
	改善行動	【前回評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか】 文化会館空調設備改修工事のための設計を行い、指定管理者と連携しながら、計画的に施設整備を進めた。

		評価	(判定)
⑥ 事業の評価	活動	【計画どおりに実施できたか】 文化会館空調設備改修工事のための設計を行い、平成29年度については、会議室棟と市民ロビーの空調設備改修工事を行った。また、文化会館大ホール吊天井の耐震調査も行き、計画的に整備を進めた。	A 計画どおり実施できた
	成果	【成果は順調に上がったか】 指定管理者と連携し、文化会館の利用状況や利用者の安全に配慮しながら、計画的に施設整備を進めた。	A 十分な成果を得た

⑦ 今後の対応方針	課題	【課題は何か】 文化会館の大ホールの空調設備改修工事や電動昇降装置巻上機取替工事など、引き続き大がかりな工事が続くので、指定管理者と連携しながら、計画的に施設整備を進めていく必要がある。	今後の方向性 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他 【その他の場合、その内容を記載】
	対応	【課題に対し、どのように対応するか】 安全確保を最優先に、文化会館の利用状況も考慮しながら、指定管理者と連携し計画的に施設整備を進めていく。	
	効果	【対応することで、どのような効果が期待できるか】 小規模な修繕では設備の維持が難しくなってきたため、計画的に施設を改修することで、施設の長寿命化と安全確保を図り、利用者の利便性の向上につなげる。	
対応時期		平成31年度	

【1次評価者】	生活文化部 文化スポーツ課 文化共生グループリーダー 米津 ひろみ
【最終評価者】	生活文化部 文化スポーツ課長 小林 恵太